教育研究業績書

最大６ページまでです。フォントサイズはあらかじめ設定しているフォントから変更しないようお願いします。

記入例

|  |
| --- |
| 　令和６年３月１日英数字は半角でお願いします。→右の日付のみ大文字氏名　　○　○　○　○　　　 |
| 認定を受けようとする課程における担当授業科目 |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 大学が独自に設定する科目 | 教育の基礎的理解に関する科目等 | 特別支援教育に関する科目 |
| ・　○○○○○（　　）・　○○○○○（　　） | ・　○○○○○（　　）**事務局にて記入**・　○○○○○（　　） | ・　○○○○○（　　）・　○○○○○（　　） | ・　○○○○○（　　）・　○○○○○（　　） |
| 教育上の能力に関する事項 |
| 事項 | 年　月 | 概要 |
| （教育方法の実践例、作成した教科書・教材、教育上の能力に関する大学等の評価、実務の経験を有する者についての特記事項等）１．教育方法の実践例２．作成した教科書・教材３．教育上の能力に関する大学等の評価４．実務の経験をする者についての特記事項 | 平成X年X月～平成X年X月平成X年X月令和X年X月 | 特に記載事項がない場合は「特記事項なし」と記載して下さい。授業において配付する資料を事前にWeb上に掲載し、学生が予習・復習に活用できるようにしている。また、オフィスアワー及びメールにて、学生からの相談を随時受け付けている。平成XX年度●●県教育委員会「○○研修会」で活用する教材を作成した。XX大学より、平成XX年度優秀教員表彰を受けた。XX高等学校３年生を対象とした大学講義体験授業の講師を務めた。 |
| 職務上の実績に関する事項 |
| 事項 | 年　月 | 概要 |
| １　資格，免許 | 平成X年X月 | 小学校教諭専修免許状（免許状番号：平○小専第XX号） |
| ２　学校現場等での実務経験複数の勤務歴がある場合は合算した年数を記入して下さい。 | ８年 | XX小学校　教諭（昭和XX年X月～平成XX年X月）XX小学校　教諭（教務主任）（平成XX年X月～平成XX年X月） |
| ３　実務の経験を有する者についての特記事項 | 平成X年X月 | XX大学教員免許状更新講習「○○○○」講師 |
| ４　その他 |  | 特記事項なし |
| 担当授業科目に関する研究業績等（著書）、（学術論文）、（教育実践記録等）、（その他）のいずれかの区分でお願いします。上記4つ以外の区分は設定できません。 |
| 担当授業科目 | 著書、学術論文等の名称 | 単著共著 | 発行年月 | 出版社又は発行雑誌等の名称 | 執筆ページ数(総ページ数) | 概　要（共著の場合は全員の著者名を記載）（共著及び執筆ページ数が抽出できない場合は執筆箇所を詳述） |
| ○○○○（　　）担当授業科目に関連する、過去10年以内（2014.4～2024.2.28まで）の活字業績を記載して下さい。以下のものは業績として記載できません。・～2014.3.31までの活字業績。・活字業績でない業績（口頭発表、絵画等の作品）・広く世間一般に向けて刊行されていない業績（研修会配布資料（活字化し、冊子等に掲載したものを除く）等） | （著書）１．○○○○（学術論文等）１．△△△△・ご自身が執筆されたページ数の合計を記載して下さい（例：75～90ページを執筆された場合は、16と記載。）・共著業績の場合、当該業績の総ページ数を（　）で記載して下さい（紀要等の論文集に掲載している場合、（　）に記載するページ数は紀要等の総ページ数ではなく、当該論文等の総ページ数です。）共著業績の場合・【当該業績全体の概要】と【本人の執筆部分の概要】をそれぞれ明記して下さい。・本人を含めた共著者全員の氏名を記載して下さい（著者が多数の場合は、本人を含めた主要な著者名を記載の上、著者の合計人数を「計○名」と記載して下さい。）。その上で、本人氏名に下線を引いて下さい。（教育実践記録等）１．□□□□大学や教職員支援機構等での指導や研究会等での研究発表、校内研修での実践発表などにおける実践的・実証的研究成果の発表記録や著作等で活字化したもの（いわゆる「研究集録」「研究レポート」「実践レポート」「教育論文」等）が該当します。 | 単共単 | 平成○○年○月平成○○年○月平成○○年○月 | ○○○△△△□□□ | ○○○○(○○)○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。200字程度（150～250字）で業績の概要を授業科目との関連が分かるように記載し、特に関連している箇所に下線を引いて下さい。記載が少ない場合は審査不能となります。【当該業績全体の概要】△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△。【本人執筆部分の概要】第◇章「◇◇」について執筆し、◇◇◇は◇◇◇であることを述べた。著者：○田○夫、△山△成□□□□□□□□□□□□□□。□□□□□□□□□□□□□□。 |
| ○○○○（　　） | （著書）１．○○○○著書に記載できるのは、出版社を通して流通し、書店などにおいて販売されている書籍のみです。（その他）１．◇◇◇◇（その他）は、担当授業科目に関連する報告書や教育関係雑誌など、活字として発表し、広く世間一般に向けて刊行されている研究業績を記載して下さい。 | 単共 | 平成○○年○月・同一の研究業績等の同一の内容が複数の授業科目に関係する場合のみ省略可能（「概要欄」以外は省略できません。）。・授業科目ごとに関連する箇所が異なる場合には略さずに概要を書き分けて下さい。・「作成した教科書・教材」欄に記載したことでこの欄の記載を省略することはできません。令和○年○月 | ○○○◇◇◇ | ○○(抽出不可)(○○) | （再掲のため、略）【当該業績全体の概要】◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇。【本人の果たした役割】◇◇◇◇著者：○田○夫、△川△介（計○名） |

「執筆ページ数」欄に「抽出不可（総ページ数）」と記載した場合、当該著書等（学術論文の場合は当該論文）の執筆箇所において本人が果たした具体的な役割を「概要」欄の最後に記載して下さい。なお、役割が監修、編集、翻訳、執筆指導、発表、実験データ提供など、本人が当該著書等を直接執筆していないものは本人の活字業績とみなすことができないため、この場合は「教育上の能力に関する事項」又は「職務上の実績に関する事項」欄に記載して下さい。

■担当授業科目数が複数の場合であっても本書類の総ページ数は６ページが上限となります。

■研究業績が多数の場合は、特に担当授業科目に関係の深い業績のみに限定して記載して下さい。課程認定審査においては業績数ではなく、担当授業科目に関係の深い業績に着目して、担当授業科目を教授できる担当者かどうかの判断がなされます。また、教育上の能力に関する事項の記載は最小限にとどめていただくことでページ数を確保していただいてもかまいません。